



発行 日本共産党 春日部市委員会 春日部市中央 7-10-9 電話 736-9933 FAX 736-9991

9月市議会 決算質疑

武里・浜川戸・豊野消防分署は 早急に建てかえを

8月30日、30年度一般会計決算認定について、松本ひろかず議員が本会議質疑を行いました。要旨は次の通りです。

3消防分署、震度5以上で「倒壊又は崩壊の危険」

30年度実施した武里・豊野・

浜川戸消防分署の耐震診断の結果、Is値がきわめて低く、震度5程度以上の大震災が発生した場合、「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」ことがわかりました。一日も早く建てかえる必要があります。

市の自主財源確保には 人口と所得の増が必要

市の主な財源は、左記の通り市民税、地方交付税、国庫支出金です。人口は減少傾向であり、市民1人当たりの所得は約30万4千円で、県内平均約34万4千円より約32万円も低くなっています。

市の自主財源を確保するには、所得と人口を増やし、約82・3%を占める中小企業を応援し、市内経済の活性化を図ることが必要です。

普通会計の積立金は 112億円

基金(貯金)は、使いみちが決まっているものを除いて総額112億円もあります。そのうち、自由に使える財政調整基金は約42億円です。基金総額は、30年度決算歳入総額約732億円の15%以上にもなり、市には多額の貯金があることがわかります。

一方で、市債残高(借金)は約699億ですが、今後国からの交付金等を差し引くと、実質的な借金は約161億円です。春日部駅の「高架化」や北春日部の住宅化、赤沼地域への産業団地建設などの都市基盤の再整備とともに、子育て支援などの施策に取り組む、文化・教育・スポーツなど施設を充実させ魅力ある市政にすることが必要です。

30年度決算質疑要旨

○消防分署の耐震診断結果

最も低い場所のIs値

- ・武里 Is値 0.29
・豊野 Is値 0.36
・浜川戸 Is値 0.52

※ Is値0.75以上が必要

30年度歳入総額732.2億円

<市の主な財源(構成比)>

- 市税約284.2億円 (38.8%)
地方交付税83.8億円 (11.5%)
国庫支出金130.5億円 (17.8%)

<市税の主なもの>

- 個人市民税約123.9億円
・納税義務者11万9569人
・1人当たりの納税額約10万3644円
法人市民税約18.6億円
・納税数 4992法人
・1社当たりの納税額37万2890円
固定資産税 約106.8億円
・納税義務者 8万4507人
・1人当たりの納税額12万6426円

<繰越金>

24.4億円(29年度22.1億円)

<職員>

- 職員1人当たりの人口
春日部市 283人 1位
県40市平均 225人
女性職員 1871人中805人
一般職比率29.79% 23位
管理職 33人 8.8%

＝国民健康保険特別会計決算＝ 高すぎる国保税引き下げを 所得103万円に14万円の国保税

9月2日(月)大野とし子議員は、「平成30年度国民健康保険特別会計決算認定」について質疑を行いました。

一般会計からの繰り入れで、国保税引き下げを

国保税額は一人当たり9万522円で県内40市中20位でした。加入者は、所得200万以下で約8割を占め、滞納世帯も所得200万円以下で約8割を占めています。平均所得は一世帯当たり103万3000円で、税額は14万2996円です。所得の1割を超え

ています。平均所得は、2014年度は113万円でしたが、この間、10万円も減少している状況です。

大野議員は「加入者、滞納者の所得の状況、平均所得の1割をこえる国保税の現状を考えれば、市民にとって国保税は高く、重い負担となっていると考えるが、市の認識は。」と質しました。

健康保険部長は、「均等割において、低所得者の方には軽減があり、負担能力に応じた適正な額と考えている」と答弁しました。

所得の1割をこえるような税を「適正」とはとんでもありません。

2018年の繰入は、4億1532万4千円、一人あたり7059円で、県内順位は40市中26位です。残金を差し引いた実質的な繰入は2億4654万5千円でした。以前は、年間8億円前後の繰入が行われていましたから、同程度の繰入で引き下げは可能です。

こどもの均等割免除の検討を

春日部市の国保税が高い理由に均等割が高いことも上げられます。40才以上は5万5800円、0才〜40才未満は4万4100円です。ここ数年で、子育て支援の一環として子どもの均等割の免除や一部減免する自治体が広がってきました。埼玉県では、ふじみ野市、富士見市、杉戸町です。2019年度から皆野町、小

鹿野町も一部減免を開始しました。

大野議員は、「2018年度の試算で第3子目以降減免は、約2000万円の実現できると聞いている。一部減免からでも取り組んでいく検討をすべき。」と主張しました。

人間ドック補助を八潮市が開始

人間ドック補助の再開は、議会でも請願等が採択されています。2019年度より八潮市が開始し、県内40市中残りはあと4市となりました。県内では、特定健診が無料の自治体も半数近くあり、早期発見、早期治療の環境は整っていると云えます。市民の命と健康を守るために、議会の意思も尊重し、人間ドック補助を早期に開始すべきです。

市立医療センターTEL735-1261(土・日・祝の昼間と夜間毎日)内・外 救急電話相談 #7119

9/8(日) みくに病院(内科系)下大増新田97-1 TEL737-1212 田村クリニック(小児科系)西金野井291-163 TEL745-1622 松浦婦人科専門クリニック(外科系)一ノ割1-5-1 TEL735-7851

9/15(日) 花川内科クリニック(内科系)中央3-8-2 TEL752-3378 豊春内科小児科クリニック

(小児科系)上蛭田681 TEL760-2300 内牧クリニック(外科系)内牧3149 TEL755-2118

